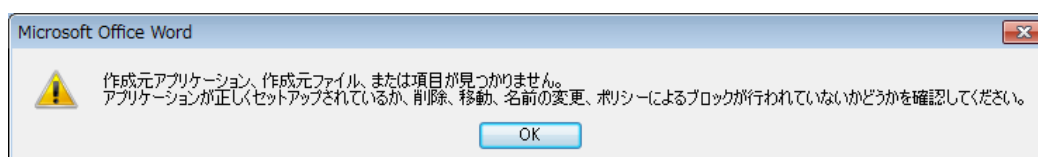
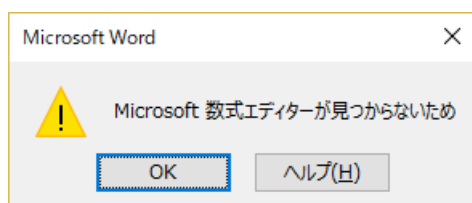
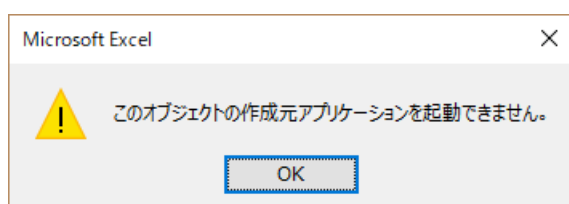


数式エディター(3.0)が削除された環境での JDT2017 による数式作成方法

JDT2017 で数式を編集する際に以下の様なメッセージが表示され、数式を編集することができない事象が発生しています。

《表示されるメッセージ》



JDT2017 で数式が編集できなくなった経緯

JDT2017 では Microsoft Office に組み込まれている「数式エディター(3.0)」を利用し数式を編集するようにテンプレートを作成しております。

この「数式エディター(3.0)」に、セキュリティの脆弱性が存在していることが確認され、Windows Update により数式エディター(3.0)が削除され利用できなくなりました。

《概要》

数式エディター(3.0)は、サードパーティによって作成された機能で、多くのバージョンの Office に含まれていましたが、セキュリティの脆弱性の問題が確認されたため、安全性への影響を考慮して 2018 年 1 月度のセキュリティ更新プログラムの適用後は削除されます。更新プログラムをアンインストールしても、数式エディター(3.0)は再追加されません。

数式エディター(3.0)の機能が削除された後に、数式エディター(3.0)で新たな数式の作成、文書内に含まれる数式エディター(3.0)オブジェクトを編集することはできません。

数式エディター(3.0)オブジェクトを含むファイルを開いて、追加されている数式を表示することはできますが、編集しようするとエラーが表示されます。

《対象となる環境》 ※2018年1月31日現在

- ・Microsoft Office 2007 Service Pack 3
- ・Microsoft Office 2010 Service Pack 2 (32-bit editions)
- ・Microsoft Office 2010 Service Pack 2 (64-bit editions)
- ・Microsoft Office 2013 Service Pack 1 (32-bit editions)
- ・Microsoft Office 2013 Service Pack 1 (64-bit editions)
- ・Microsoft Office 2016 (32-bit edition)
- ・Microsoft Office 2016 (64-bit edition)

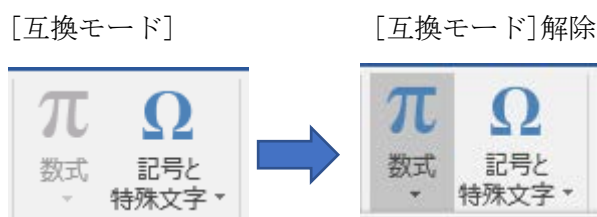
新しい数式機能を利用できる様にする方法

数式エディターが削除された環境で、JDT2017 を利用し数式を作成する方法を以下に記載します。ただし、前述したように既存の数式（数式エディター(3.0)で作成された数式のこと）を再度編集ができないため、数式を編集する場合、新しい数式により再度数式を作成し直すこととなります。

JDT2017 では文書の保存形式を、旧の文書レイアウトを保持するように、文書を[互換モード]として、docx 形式の文書ファイルとして保存しています。

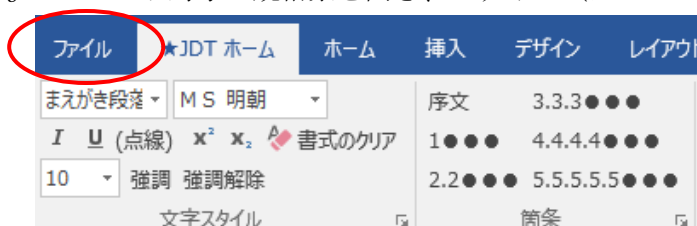
文書 [互換モード] - JDT2017 (一般モード)

[互換モード]の文書では、Word2007 以降に追加された新しい数式機能を利用することはできませんが、この[互換モード]を解除することにより、Word2007 以降に追加された新しい数式機能を利用することができるようになります。



まずは文書の[互換モード]を解除する方法を説明します。

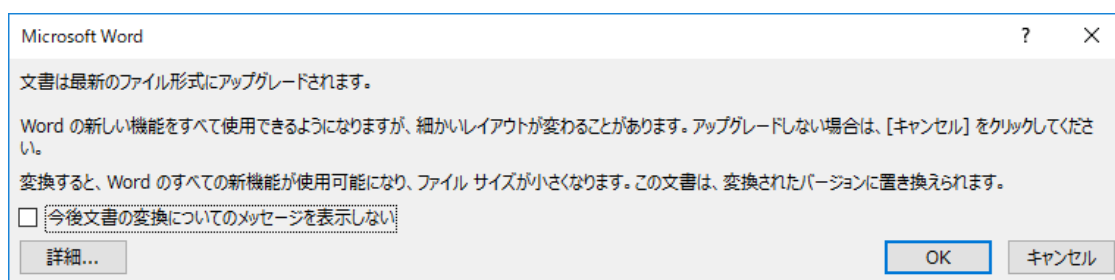
1. JDT2017 より対象の規格票を開き、ファイル（メニュー）を表示します。



2. ファイル（メニュー）の左の列に表示されるメニューの「情報」を選択し、画面に表示された「変換」ボタンを押下します。



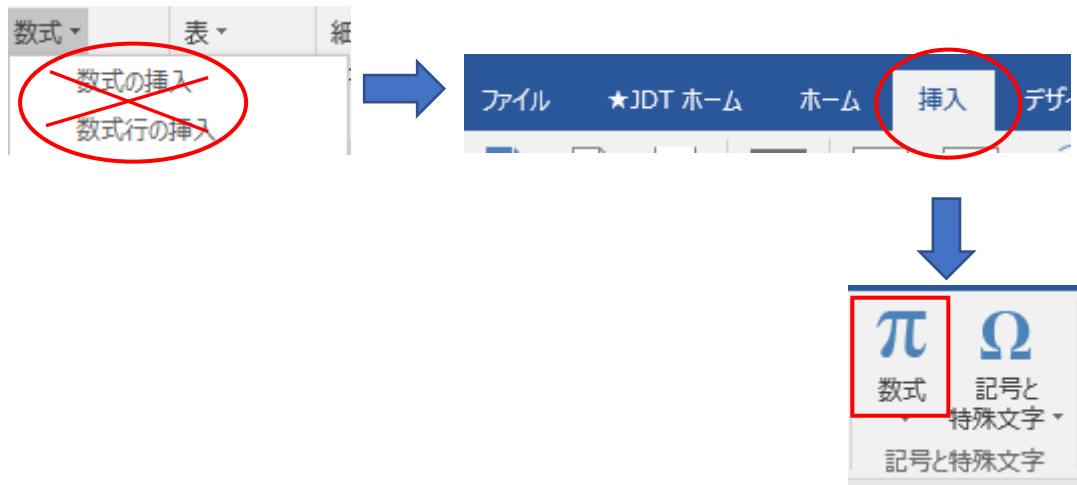
3. 確認メッセージが表示されますので、内容を確認し「OK」ボタンを押下し文書の[互換モード]を解除します。



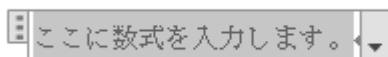
[互換モード]が解除されることにより新しい数式機能が利用可能となります。

新しい数式機能の操作について説明します。

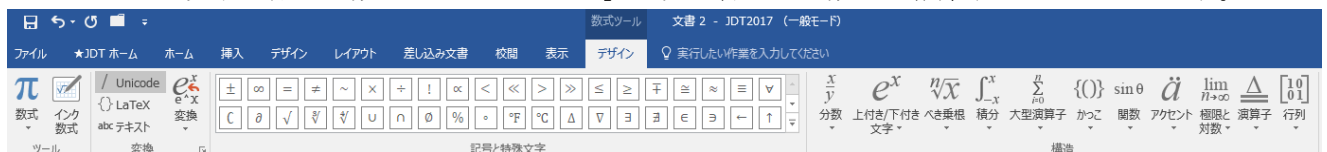
数式エディター(3.0)が削除された環境では、前述したように数式エディターを起動されるとエラーメッセージが表示され、数式を編集することができません。文書の[互換モード]を解除し、挿入(メニュー)を選択し、新しい数式機能を利用し数式を編集してください。



新しい数式機能を起動すると以下の様に文書に『ここに数式を入力します。』が展開されます。



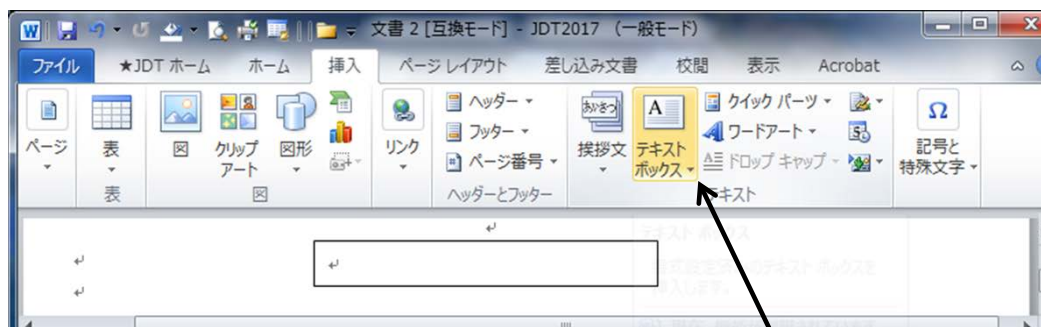
Wordのリボンが以下の様に「数式ツールデザイン」に切り替えられ数式を編集することができます。



新しい数式機能を使用するに当たっての注意事項

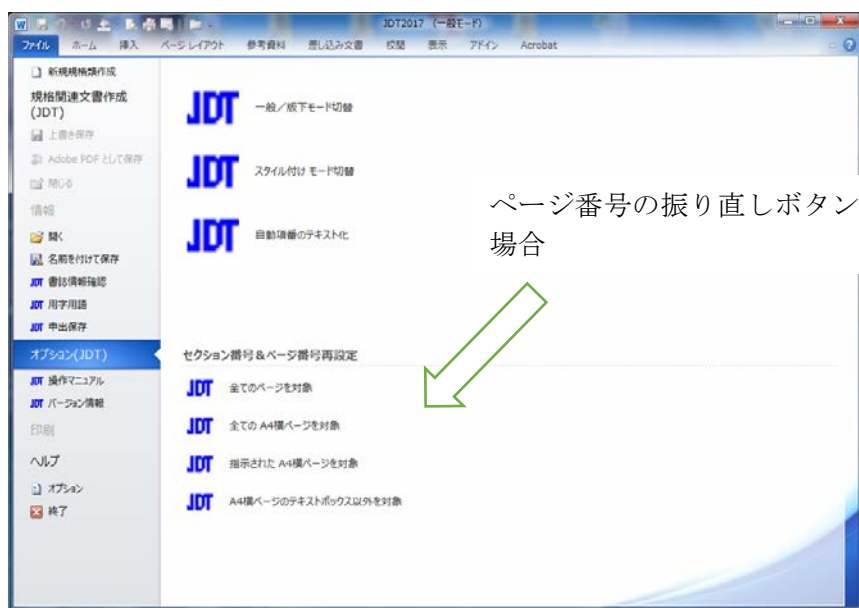
文書の[互換モード]を解除すると、文書全体に影響を及ぼし、一部の図及びテキストボックスのデータの位置が変更する、データ上に不要なテキストボックスが発現するなど、データに不具合が出るケースがあります。[互換モード]を解除した後は、文書全体を確認してください。

現時点（2018年1月31日）、Word2007以降のファイル形式(.docx)のデータにおいて、互換モードを解除して大きく崩れた例は見つかっておりませんが、使用するWord機能、元データが旧ファイル形式(.doc)を.docxのファイル形式に変換したなどの理由によって、影響を受ける場合がございますので、ご留意いただきますようよろしくお願い申し上げます。



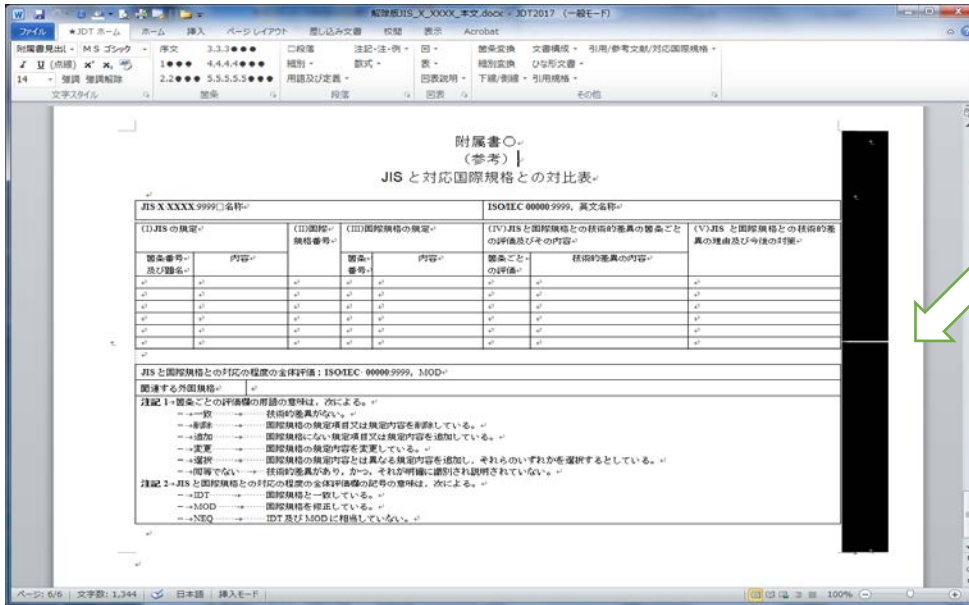
テキストボックス

また、互換モード解除後のデータでは、下記ボタンでページ番号をふり直したとき、横向きのページのヘッダーが黒く表示される場合があります。その場合、そのテキストボックスを選択した状態で右クリックして「図形の書式設定」を開き、「塗りつぶし」の色を「白」又は「なし」に変更すると正しく表示されます。

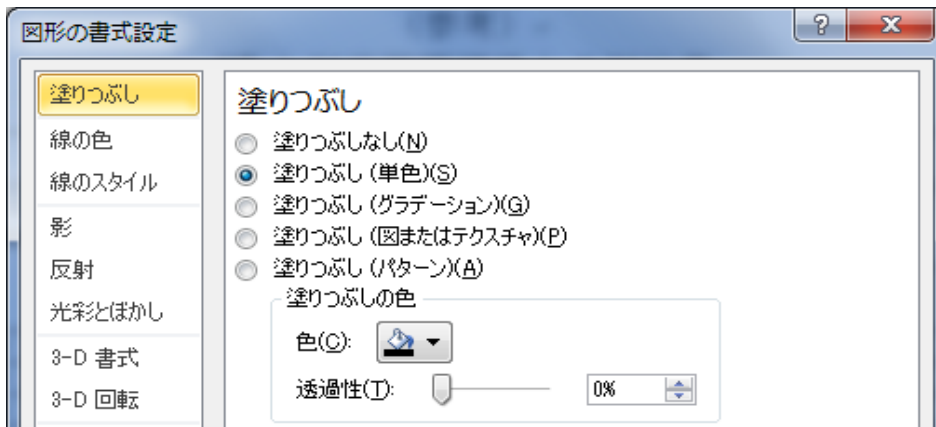


ページ番号の振り直しボタンを押した場合

黒く塗りつぶされているヘッダー及び不要なヘッダーが発生している状態。



塗りつぶし (単色) の色を白に変更するか、又は塗りつぶしなし (N) を選択すると、



ヘッダーが表示される (左右2つのページ番号のヘッダーのうち、片方は削除する。)

